

2025年11月7日(金)、「立冬」とはいえ穏やかな秋の一日、「温泉マーク発祥の地」と云われる碓部温泉のまちなか歩きをしてきました。

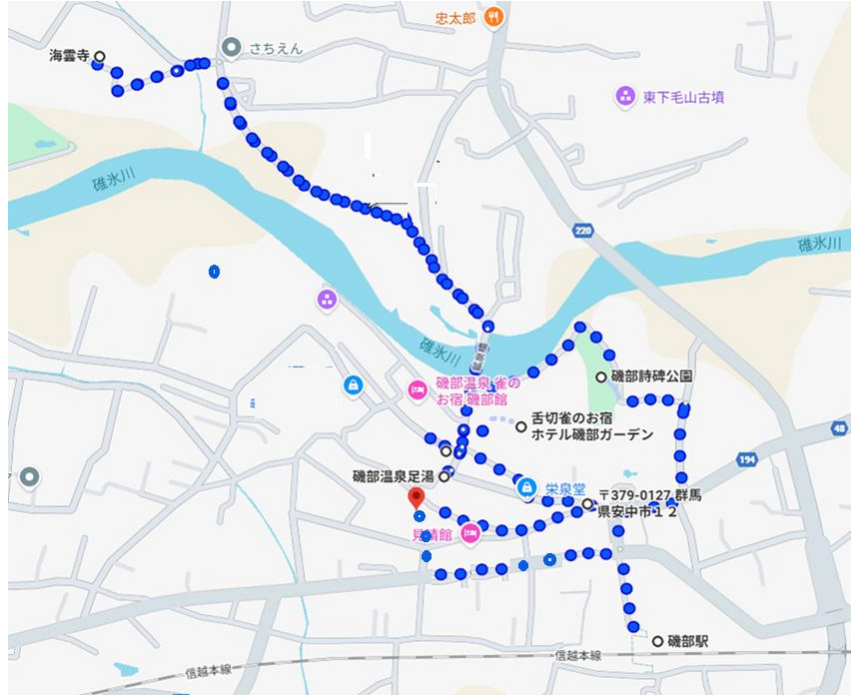
今回の参加者は12名の参加でハイキングを楽しんできました。

朝方は冷え込みましたが、昼間は20℃近くと気温も上がり絶好のハイキング日和でした。

歩行距離を短く設定したこともあり、ゆっくり歩けましたが、反面、見所も少なく、少し物足りなかったかな、と幹事としては反省しています。

但しNさんがホテル碓部ガーデンと交渉され、舌切り雀に関する展示を見学することができました。

コースは右図の青点線のルート



10:00 碓部駅前にて朝のご挨拶とコースの概略案内



10:05 碓部駅より5分ほどで碓部詩碑公園に到着。



公園の中央には温泉記号発祥の地の碑がありました。

**発祥の根拠:**万治4年(1661年)、地域の土地争いに関する江戸幕府の評決文「上野国碓氷郡上碓部村と中野谷村就野論裁断之覚」に添付された絵図に、湯気の立ち上るような記号が2つ描かれていた。

**専門家の調査:**この記号が日本で最も古い温泉記号であると判明、碓部温泉が「温泉記号発祥の地」と認定。

**記念碑の設置:**碓部公園に「温泉記号発祥の地記念碑」があり、当時の絵図を模した石碑を設置。

園内には大手拓次・萩原朔太郎・北原白秋らを始めとする詩人や歌人たちの 15 の詩碑がありました。



10:07 北原白秋の歌碑を見つめる S さん。

「華やかにさびしき秋や千町田のほなみがすゑを群雀立つ」



若山牧水の歌碑

「湯の町の 葉ざくら暗き まがり坂  
曲り下れば 溪川の見ゆ」

大手萬平翁の胸像

功績：磯部温泉と大手萬平翁には深い歴史的つながりがあります。彼は「いそべせんべい」の創始者であり、温泉街の発展にも貢献しました。

明治 18 年 (1885 年) 頃、磯部温泉の鉱泉水を活用して「いそべせんべい」を考案。

鉱泉水の塩分と炭酸を膨張剤・調味料として利用し、独特のサクサク食感を実現。

鉄道停車場の誘致にも尽力し、磯部温泉街の形成に貢献。





10:10 詩碑公園で萩原朔太郎の詩碑を眺める  
メンバー



10:15 詩碑公園 碓井川河畔に向かう一行



10:20 碓井川河畔を鉱泉橋へ



10:40 海運寺へ到着

海運寺本堂



全国でも珍しい「招き猫の寺」として知られており、東京・豪徳寺の招福観音の分身を勧請し、境内には多数の招き猫像が奉納されています。

#### 由来:

- 招き猫の発祥とされる東京・世田谷の豪徳寺で修行した海雲寺の住職が、豪徳寺の「招福観音」の分身を勧請。
- 豪徳寺の伝説では、彦根藩主・井伊直孝が雷雨に遭った際、一匹の猫が手招きして寺に導き、難を逃れたことが由来。



招福殿

- 右手を挙げた猫:  
金運を招く



- 左手を挙げた猫:  
人(客)を招く



11:25 磯部温泉足湯 Tさん、Hさんは足湯に。

昼食予定の「西洋亭」



舌切雀の伝説は、おばあさんに舌を切られた小雀をあわれに思ったおじいさんが舌切雀のお宿を訪ね、そこで雀たちから大歓迎を受けるという動物報恩譚の一種であり、また、欲張って大きなつづらをもったおばあさんが怖い目にあうという教訓を含んだ物語です。

磯部温泉は、明治時代の児童文学者・谷小波(いわや さざなみ)によって「舌切り雀伝説の地」と認定。その時詠まれた句、「竹の春 雀千代ふる お宿かな」の碑が磯部ガーデンにある。



昼食の予約時間まで、ホテル磯部ガーデンの1Fにある「舌切り雀」伝説に関わる展示を見学。

11:40 西洋亭にて予約していたランチを喫食



ランチ時の様子は HP に記載の動画 URL をクリックしてご覧ください。(画面をドラッグすると 360° 見られます) 画像は粗いです。

12:50 昼食後足湯の所で12月度ハイキングの案内を担当幹事の佐々木さんにして頂きました。

13:00 足湯前にて集合写真





13:45 駅へ向かう一行

足湯から磯部駅への通りが通称「煎餅通り」と呼ばれていますが、静かな通りでした。  
「磯部せんべい」を試食し、土産を買いました。



予定より50分ほど早く着いたので、待合室にて休憩。待合室のベンチは席ごとに座布団がありゆったりとできました。

14:35 磯部駅ホームにて解散の挨拶



朝、高崎線のトラブル遅延により、当初予定の電車の一本後の電車となり、高崎での乗換え時間が心配されました。しかしながら高崎で3分の乗換え時間があり、皆様の迅速な行動で、間に合いました。

今回のハイキングは、歩行距離を短く、ゆとりのある計画としましたが、見どころが少なく、少し物足りないハイキングになってしまったと思います。

ただ、温泉記号の登録の由来や「舌切り雀」と磯部温泉の関わりなど、新しい知識が得られたことは良かったと思っております。

参加いただいた皆さま、大変お疲れ様でした。また、ご協力ありがとうございました。

次回は、12月5日(金)「熊谷江南・縄文土器に触れる」ハイキングが美術工芸科の担当で開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

記:加藤 治朗